

令和3年度 第4回 たちかわ市民交流大学企画運営委員会議事概要

日 時：令和4年3月15日（火）午後6時～8時

場 所：女性総合センター 第2学習室

出席者：宮本直樹、秦範子、加藤寛治、三上操、鳥海清、岡部一彦、難波敦子、萩本悦久、広瀬俊夫

事務局：岡部浩昭（生涯学習推進センター長）、片川明夫（市民交流大学係長）、

加藤裕史（同係職員）、床鍋桜子（同係職員）

《当日配付資料》

- 令和3年度第4・5・6回生涯学習推進審議会 議事内容【取扱注意】
- 生涯学習推進審議会 令和2年度進捗評価表（完成版）
- きらり・たちかわ春号（第59号）
- A委員からのご質問に対する回答
- 令和4年度たちかわ市民交流大学 公募型団体企画型講座申請 一覧
- 令和4年度たちかわ市民交流大学企画運営委員会スケジュール（案）
- 「てとて2022年3月号」

《事前送信資料》

- 令和3～6年度たちかわ市民交流大学事業方針（令和3年度進捗状況）
- 前回議事概要（確定版）

- 1 委員長あいさつ
- 2 資料の確認
- 3 前回議事概要（確定版）の確認
- 4 報告

（1）各委員からの報告

①市民推進委員会からの報告

- ・なかなかコロナも落ち着かない中で、講座が中止・延期等になっている。定員を少なくして行っているが、参加する方が多く、欠席する方も少ない。来年度の総会が4月27日に開催する予定になっている。2年間書面決議だったが、今度はできるのではないかと考えている。ただし、懇親会はなし、密を避けるために来賓も呼ばないことにする。ミニ講演会は、去年は宮本委員長にお願いして市民推進委員研修として行ったが、来年度は今のところ総会時にやる方向で考えている。
- ・「きらり・たちかわ春号」が発行されたが、検査が3月18日午後からありそれが終わってからの配架になる。今日は検査対象外の資料を皆さんに配付した。内容は、「立川に唯一残る田んぼを守る」としてがにがら田んぼの紹介、A委員に「立川をホテルの里に！」というホテルの記事を書いてもらった。
- ・錦学習館のプレ錦まつりを、コロナで2年出来なかったため、今年は1月29日と30日にズームを使用してオンラインで開催した。東京学芸大学の学生が20人参加して、2日間で6講座開催した。

②文化協会からの報告

- ・コロナでフェスティバル等が中止になっている。これからどうしていくか、考えていきたい。お囃子保存会は、14団体の長をやっていて、そのうち2団体が、今年度コミュニティ奨励賞をいただいた。来年度で全部終わることになる。お囃子は、一年間の練習の結果で、子どもたちにどのように教えていくか課題がある。

③生涯学習市民リーダーの会からの報告

- ・来年度やる 10 講座について決めて、今動いている。1 月やった講座が、受講した方 10 人くらいが、スキルアップしたいという話があった。参加者全員が、スキルアップした講座をやってほしいというのは、これまでやっていて初めてだった。

④公募委員からの報告

A 委員：E 委員からも話があったが「きらり・たちかわ」にホタルのことを書かせてもらった。

ホタルは、地域の方に鑑賞して楽しんでもらいたい。新聞、マスコミなどに載ると、多くの人が来て交通渋滞など大変なことになってしまう。今年、ホタルが飛ぶ頃、皆様に紹介したいと思う。

B 委員：いくつかのサークルに入って活動しているが、この 2 年間はコロナで大変で、会によってはなくなるところもある。こんな時に学習館等で相談ができると良いと思う。

⑤ボランティア・市民活動センターたちかわからの報告

- ・「てとて 2022 年 3 月号」は、春休み前に学校で配付して、持って帰って保護者と一緒に見てもらいたいと案内している。

(2) 事務局からの報告

① 地域学習館運営協議会

全体としては、2 月 19 日に地域学習館運営協議会交流会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となった。

柴崎学習館：次年度のすわっ祭について、リモートを含む形で 5 月 21 日から 29 日に開催予定。1 月 14 日から 2 月 2 日まで写真展「中東シリアの内戦と難民の暮らし」と 1 月 29 日に関連講演会を開催した。

砂川学習館：11 月 13 日に地域活性化講座「楽し ♪ 地元野菜の収穫体験 in 砂川」を開催した。次年度の地域活性化講座の実施内容の詳細について話し合われた。

西砂学習館：来年度のサマーイベントや地域デビューについて話し合われた。

高松学習館：2 月 25 日に開催された「立川を歩く～振り返り」に、視覚障害者とガイドヘルパーさんが参加されていた。

錦学習館：1 月 29 日・30 日に「第 12 回プレ錦まつり」が行われた。SDGs の講座には、リモートで鹿児島の子どもたちの参加があった。3 月 2 日から 26 日まで、「第 36 回みんなの錦まつり」が行われている。

幸学習館：12 月 5 日に防災講座「在宅避難と自ら生き残るための対策～避難所は小中学校だけじゃない!!」、12 月 11 日に「かわせみカフェ」が開催された。3 月 6 日に 16 ミリフィルム上映会が開催された。

② 団体企画型講座

資料 2 のとおり、13 講座の申請があった。そのうち 1 団体は開催回数を超えていて、お断りをした。もう 1 団体は、1 月に決定したが、コロナ禍で開催を取りやめたいとのことで、全部で 11 団体となっている。初めてやる団体は 3 団体で、そのうち特に 4・5 を報告したい。5 は、A 委員が関わっている団体で、今年度実施予定だったがコロナにより中止となった。

来年度が初めてとなる。4は、アール・ブリュット立川実行委員会で、今まで高松学習館でやっていて、来年度は開催が難しいとのことで相談があり決定した。どちらも講座の開催だけでなく、女性総合センター1階のギャラリーで関連展示を同時に行うこととなり、団体企画型講座としては初めての試みになる。

③ きらり・たちかわ春号

E委員から報告があったとおりで、今日納品された。最近検査が希望通りにはならなくて、検査が3月18日の午後になってしまった。配架されるのは、検査が通れば午後2時か3時以降になる。

④生涯学習推進審議会の会議録

委員長：生涯学習推進審議会の会議録の第5・6回が、今回配付されている。第4回は配付されていない気がするが、どうか。

事務局：配付されていない。後でお送りしたい。

委員長：第5回は、前半は地域学校コーディネーターについて、西砂学習館の大橋委員から色々と話があった。後半は、東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会の話があり、第6回でも引き続き検討している。この研修会の幹事が立川市になっている。

C委員：幹事になっているので、立川独自の考えてやっていけたらと思う。

D委員：先ほど話があったが、西砂で明日地域学校コーディネーターとの交流会をやることになっている。

C委員：大橋委員の話が、情熱的に話していて、西砂はすごく活発にやっていて凄いと思う。

D委員：社会教育の観点から見て、地域と関わっていくことは、とても大事だと思う。

⑤令和2年度取組状況の進捗評価表

委員長：2ページを見ていただいて、「関係する主な事業」に「市民交流大学運営事業」と書いてあるのが、関係してくる。「事業の成果・課題 今後の方向性」は、事務局が書いて、その下の「総評」に、生涯審の委員が書いている。具体的には、「今後の方向性」に、「市民推進委員は発足して13年が経過し、委員の高齢化が進んでいます。今後も継続して市民目線の講座を届けるため、特定の市民推進委員に過度な負担がかからないように働きかけや効果的な入会案内の周知等、活動しやすい環境づくりや新規入会者の増加につながるよう支援していきます。」と書いていて、下の「総評」で6つ挙げていて、そのうちの「⑤今後も事業を継続していく為には市民推進委員の活動について、効率的な役割分担が必要であること」と書いてある。

副委員長：誰が評価しているのか。

委員長：生涯審の各委員が、それぞれ宿題でコメントを書いて、会長・副会長でまとめる形になっている。

E委員：評価は、できるだけ早く出して、翌年に反映していくようにしたほうがいいと思う。評価方法も、具体的な基準を決めてやっていく方が良いと思う。

委員長：以前からのやり方が続いている。事業が膨大なので、まず事務局がまとめるのに時間がかかってしまうことがある。以前は、学識経験者がやる評価委員会があった時

は、もっと時間がかかっていた。今は、立川らしい評価ができるようになってきている。

D委員：高齢化になっているのは、そのとおりで、今年で15年になる。昨年、一昨年と10人新しい方が入ってきて、今は転換期だと思うので、そこをどういうふうにしていくか、考えていかないといけないと思う。

副委員長：ご指摘とずれがあるということだと思う。PDCAをやるのであれば、もっと丁寧に、ヒヤリングをするなどをして良いと思う。市民推進委員会のことを、生涯審の委員がどの程度理解しているかということかと思う。現場のことを把握できていないのであれば、ヒヤリング等をお願いしてやったほうが良いと思う。

委員長：市民推進委員会で総括した評価表があれば、生涯審で配付したいと思う。

副委員長：第2ブロックの自治体で、独自にチェックシートを作成しているところもある中で、そういうのがあれば自己評価ができると思う。

委員長：共有することが大事だと思う。市民交流大学事業は最重要なので。

5 議事

(1) 令和3年度たちかわ市民交流大学事業方針について

委員長：令和3年度の進捗状況を事務局から報告いただきたい。

事務局：変更箇所を報告したい。3ページの取り組み状況1で「市民企画講座は、11件」、4ページの取り組み状況4のとも「11件」に修正している。取り組み状況6。砂川学習館の「1月にコーディネーターの参加を調整したが中止となったため、3月での参加調整を行っている。」、幸学習館の「六中、九中のコーディネーターと9/6に実施。ただし議論は小学校での活動についてが主であった。なお南砂小のコーディネーターは地域運営協議会委員である。」に修正している。

委員長：皆様からご発言あるか。

F委員：5ページの錦学習館のところで、「三小、七小、三中のコーディネーターと10/4に実施。」とあるが、これは実際にやったのか。

事務局：錦に確認して、開催したとのこと。

委員長：錦は、運営協議会の会長と地域学校コーディネーターが、同じ人がやっていて、地域に明るい社会教育人材の方がやっている。他のところは、PTAのOBがやっていることもあり話がかみ合わないところもある。錦は、一人の方に頼っているということか。ブラッシュアップして書き足しているが、次回6月には令和3年度のまとめを行う。それを生涯審にも提出する予定。

G委員：資料1、資料1と同じ番号が振られていて、話がついていけない。資料番号を統一してもらいたい。

事務局：次回から注意する。

B委員：資料2の団体企画型の一覧だが、11件も出て凄いと思う。以前は学習館はほとんどなかった。また、申請する期間が短い感じもあり、上期・下期に分けて募集しても良いのかと思う。行政企画講座が、一番多くて500講座ぐらいなので、これを減らすために団体企画型講座を、もっと増やしてもと思う。

E委員：センターや学習館の空き具合は、どうなのか。

事務局：空きについては、来年度の後半については、見た目は空いている状況。団体企画型講座、市民企画講座について、学習館で活動しているサークルを阻害しないようにしてい

る。団体企画型講座については、資料2の表の右から2つ目に補助金の項目があり、今回5団体が申請していて合計9万円強になり、予算は25万円なので結構余ることになる。来年度はもう無理だと思うが、B委員の意見を参考に令和5年度以降に検討していきたいと思う。

C委員：各学習館で、空き具合を既存の団体がどこを使用しているかを、ピックアップしてもらったらどうか。

事務局：今回の団体企画は、資料2の1～6は女性総合センターになっていて、7～11は学習館が会場だが、申請も学習館で受けている。申請時に、学習館職員と相談して日程などを決めている。

C委員：これに限らず講座を開催するときに、各学習館で空き状況がわかっていると思うので、それを開示してもらえたらと思う。そうすれば、邪魔にならなくて取れるのかなあとと思う。

F委員：過去のを調べれば良いと思う。

委員長：定例で入ってきそうなところを避けて、市民交流大学は空いているところに入れた方がお互いの為になるということか。

事務局：既に団体企画型講座、市民企画講座ともに、調整は行っている。ただし、月に連続4回やる講座としたら、無理なので調整している。学習館によって隔週または月をまたいでなら良いなど、違いがあるので調整している。

C委員：過去ものでもいいので、そういうものを開示してもらえれば、スムーズにいくと思う。

事務局：情報開示というのは、市民企画、団体企画だけでなく、一般に広くという意味か。今の時点では、来年度の予定は入っていないので、今年度の状況を調べてもらうことか。学習館の職員は、状況を分かっているのだから、そういったところから教えてもらう。

F委員：各学習館の毎月の利用が、わかると思うので、それを出してほしい。

事務局：一覧表にしなくても、やり取りで済むのではないかと、抽選でどの団体が入ってくるのか、知りたいという感じか。

D委員：3か月先や半年先状況が、わかれば良いとのことだが、それは事務局が言うようにすでに調整してもらっているから良いと思う。

E委員：今色々調整してもらっているから、ちょっとしたものがあれば良いと思う。

事務局：先生に相談する前に、事前に学習館に相談してから先生に相談してもらうようにしている。

委員長：事前にまず学習館に相談してから、先生の都合を相談にいくのが良いことが確認できた。

B委員：一般のサークルがとる時が、大変だと思う。

D委員：私も市民推進委員会、サークルもやっているから、今の話はよく分かる。

事務局：アイムを使う時は、比較的調整することは少ない。社会教育関係団体であっても、学習館は無償だが、アイムは有料（一部負担）なので、あまり重なるようなことはない。

委員長：アイム登録団体が無料で、社会教育関係団体が有料なのは、前から納得しがたいと思っている。団体企画が、砂川学習館だけ出していないのは、どうしてかなあとと思う。

事務局：一昨年度は、1件出ていたが団体の都合により実施を取り下げている。今回1件も出なかった理由は承知していない。

委員長：建て替え後には多く出てくることを期待したいと思う。

事務局：2 番の立川イタリア歌劇団は、今年度は錦学習館で 6 回やっていて、来年度は改修工事で使えないため、回数を減らして（3 回）アイムでやることになった。錦学習館と連携して行うことになっている。

E 委員：C 委員にお聞きしたい。最初の話で、それは教え方が良いのか。

C 委員：向上心が凄くて、自分で描いてきた絵を見てもらって、やっている。

委員長：「たちかわ市民交流大学企画運営委員会 質問→回答」について何かあるか。

A 委員：わりと簡単な報告書であることが分かった。地域学校コーディネーターが、しっかりとした報告書を書けば、次の活動につながることも出来ると思ったが、そこまではやっていないとのことか。活動報告書を書くとなると、結構活動すると思う。

委員長：アイム 1 階の生涯学習情報コーナーの状況が、学習相談 4 件、社会教育関係団体関係 477 件、市民リーダー関係 14 件、施設案内 19 件、その他 165 件となっている。圧倒的に社会教育関係団体が多いのは、これは手続等によるものか。

事務局：仰せのとおり。そのほかサークル紹介や市民リーダーの紹介等がある。

副委員長：学習相談が年間で 4 件しかないのか、ちょっと少ない。もう少し精査してもらって出したほうが良いと思う。

事務局：再度確認して報告する。コロナの関係で来所の相談が減っているのもあり、電話での相談が増えているのも関係しているかもしれない。

副委員長：6 月の時に、もう少し詳しいものを出してほしい。

A 委員：「生涯学習市民リーダー登録名簿」の件で、4 月くらいにラジオ体操のことで私に市民の方から相談があった。市へ相談が入って、市からの情報提供により、私のところへ連絡があったということか。

事務局：今年度私が電話で相談を受けて、名簿を見て A 委員へ打診をしたことがある。

A 委員：市民がその名簿を見られるところがあるのか。

委員長：アイムの 1 階にあるほか、資料に書いてあるとおり学習館、学供等には閲覧できるように置いてある。

事務局：ホームページにも掲載している。

C 委員：今回は名簿の中に「こんな講座ができます。」というのを載せている。市民リーダーというのが、どういうものか知らない方も多い。

副委員長：ホームページには、名前などは掲載しているか。

事務局：個人情報の関係があり、名前はわからないが、連絡先は載せていない。ホームページは、分野、青年、性別、所属団体等で、名前は載っていない。

副委員長：それを見てリーダーを紹介して、団体とやり取りするということか。

B 委員：通常は年間で講座数が 500 くらいのようなのだが、ほとんどが行政企画講座だと思う。それを、市民推進委員会、市民サークル等に担ってもらって、行政の負担を少なくした方が良いと思う。

事務局：市民企画、団体企画は市民主体で行っている。市民企画講座は、年間 50 くらいやって、それ以上に増やすのは大変だと思う。団体企画については、先ほど B 委員から話があったとおりで、検討してみたいと思う。来年度は決定済みであるので、令和 5 年度の開催に向けて検討していきたいと思う。

B 委員：行政の各部署で、これは市民でもできる等の話はないか。

事務局：私が聞いたところではない。講座についての考え方が各部署と市民推進委員会とで一致しない場合もある。

B委員：少しでも出して市民にやってもらおうというスタンスがあれば良いと思う。

事務局：市民推進委員会が男女平等参画課と共催することはあった。

副委員長：生涯審の評価の1ページ目に「委員の高齢化が進んでいます」とあるが、それは事実か。

D委員：それは事実で、我々も課題として考えないといけないと思っている。また、ここ2年で新しい人が入ってきているが、15年経ってちょうど転換期だと思う。B委員の話で、以前市民推進委員だった方が、市の出前講座を利用してやったことがある。また、市民リーダーさんを活用して実施した講座もある。うまく行政、市民リーダー等とリンクしてやっていくことが大事だと思う。

副委員長：人材育成も大事だと思う。行政講座を少し減らして、市民にやってもらうことは、目指す方向としては間違っていないし、安定した運営もしていかなければいけないと思う。世代交代してやっていける人材育成が必要だと思う。

D委員：市民企画講座は、年間50講座くらいで、10周年の時は60講座くらいやった。うまくリンク付けをすれば、やっていけると思う。コロナの関係で、今年度48講座を企画したが、そのうち中止・延期は11講座になっていると思う。

委員長：ほかに何かあるか。

C委員：「公募型団体企画型講座」について、どういうものなのか、何か説明しているものはないか。

事務局：ホームページで見られる。説明資料については、毎年10月くらいに配架して12月に締め切ったら下げている。保管している残部があるので、後でお渡しする。

6 その他

(1) 次回以降の会議日程等について

今回は、令和4年6月21日（火）18：00～女性総合センター 第2学習室とする。

委員長：議会と重なることを前提にしていなかったのも、変更をしたいと思うがどうか。例えば、9月開催予定を10月の第1・2火曜日に変更し、12月開催予定を1月の火曜日に変更するなど。事務局に、検討して案を作成してもらいたい。選出団体の関係で4月以降に退任の可能性がある方がいらっしゃったらお申し出いただきたい。大野委員は3月で市職員を定年退職されるのに伴い委員退任となる。

以上